令和８年度 紅梅荘通信設備大規模修繕及び介護ロボット･ICT 導入整備事業に関する仕様書

１．概　要

本仕様書は、「特別養護老人ホーム 紅梅荘」（以下「甲」という。）に施工、設置、構築する下記「２．品目および数量」の(1)～(5)と合わせ、【紅梅荘通信設備大規模修繕及び介護ロボット・ICT 導入整備事業】として、補助申請外（自費）にて実施予定の PBX システム刷新（スマートフォン用アプリによるソフトフォン化）、Wi-Fi 配線・取付作業、および補助対象外となる浴室・トイレ等を含めた一気通貫連携システムを構築する設備に関する仕様書であり、工事、設置および機器の仕様について規定するものである。

２．品目および数量

(1)　音声（5GHz 帯）/データ（2.4GHz 帯）両対応 全館 Wi-Fi 機器・設計・設定作業一式
(2)　無線・スマートフォン対応・介護記録連携 ICT コールシステム（ココヘルパ G／ジーコム株式会社）一式
(3)　介護請求・記録ソフト（CAREKARTE／株式会社ケアコネクトジャパン）および情報端末（スマートフォン端末に接続する骨伝導ヘッドセット等、専ら介護ソフトを使用するための端末）導入費用一式（音声記録入力/インカム用骨伝導型ヘッドセット Shokz OpenComm2 2025 Upgrade 33 台）
(4)　見守りシステム（眠り SCAN・オプション離床センサー 各 23 台／眠り SCAN eye 4 台／眠り CONNECT（クラウド）1 年分利用料／パラマウントベッド株式会社）
※スマートフォン（iPhone）33 台は、甲からの支給品とする（ソフトバンク株式会社 介護 ICT レンタルプラン）。
(5)　日立 PBX・Wi-Fi 配線・取付・ジーコム メインユニット・呼出ボタン一式（通信設備大規模修繕工事）

３．納入条件

(1)　上記機器および工事は同一区分とし、本件にて構築する上記「２．品目および数量」の(1)から(4)について、(5)の通信設備大規模修繕工事、および補助申請外（自費）にて実施予定の PBX システム刷新（スマートフォン用アプリによるソフトフォン化）との連携拡張設定を施し、各機器を連携させることで一体的な運用が可能なものとすること。
(2)　機器の搬入、据付および調整等にかかる経費を含むものとする。
(3)　機器の搬入、据付をする際には、建物・設備等に損害を与えないよう必要な処置をすること。
(4)　令和９年３月 31 日までにすべての納品・工事を完了させること。
(5)　納入後１年以内に故障（故意または重過失によるもの、天災による障害を除く）が発生した場合は、落札者が各施工会社・協力会社と連携し、無償で修理すること。
※障害連絡受付は、各施工会社・協力会社の『保守体制図』のとおりとする。
(6)　本納品は、据付調整工事完了後、監督員の立会い検査合格をもって完納とする。
(7)　機器の取り扱いや操作の方法について、十分な説明・指導を行うこと。
(8)　機器は本仕様書に示した機能がすべて発揮されるように施工すること。また、本仕様書に記載されていない事項であっても、技術上または当然必要と思われる事項については、落札者の負担において施工すること。
(9)　補助申請外（自費）にて実施予定の PBX システム刷新（スマートフォン用アプリによるソフトフォン化）を含め、【紅梅荘通信設備大規模修繕及び介護ロボット・ICT 導入整備事業】として一体的に機能すること。

(10)　半導体不足等の不測の事態により施工や納期などに遅延が生じた場合は、別途双方協議の上、決定するものとする。

４．導入機器構成

(1)　音声（5GHz 帯）/データ（2.4GHz 帯）両対応 全館 Wi-Fi 機器・設計・設定一式

①　納入機器・構築関係は以下のものとする

商品名	数量
◆ 音声（5GHz 帯）/データ（2.4GHz 帯）両対応 全館 Wi-Fi 機器・設定	
アライドテレシス 4783R AT-x530-10GHXm PoE スイッチ	1 台
アライドテレシス 4310RZ5 AT-x230-52GP-Z5 PoE スイッチ	1 台
アライドテレシス 1437RZ5 AT-x230-18GP-Z5 PoE スイッチ	3 台
アライドテレシス 4551RZ5 AT-TQ6702 GEN2-Z5 無線 LAN アクセスポイント	33 台
アライドテレシス 04076 AT-SW-WL10-5Y-2020 ライセンス	1 式
アライドテレシス 04080 AT-SW-WL10ADD-5Y-2020 ライセンス	2 式
ヤマハ ギガアクセス VPN ルーター RTX1220	1 台
ヤマハ RTX1220 オンサイト保守（終日）5 年 YH-RTX1220-24-5Y	1 式
FortiGate 70G SecuritySuiteJK+FortiCloud 5 年	1 台
訪問等諸経費	1 式
システム設計構築	1 式
VLAN 構築・設計	1 式
無線 LAN アクセスポイント コントローラー設計・設定	1 式
無線 LAN アクセスポイント メンバーAP 設定	1 式
L3 スイッチ設定	1 式
L2 スイッチ設定（29-52 ポート）	1 式
L2 スイッチ設定（11-18 ポート）	1 式
FortiGate 基本設置・設定（アラート設定含む）	1 式
VPN ルーター設定	1 式
完成図書	1 冊

※販売終了となった場合には、後継機種を選定し納めること。（工事後、機器配置図を提出すること。）
※設置および設定は、落札者と双方協議の上、別途契約を行うものとする。
※SSID/パスワードについては、落札者にのみ開示を行う。

②　概要

②-1　Wi-Fi 環境整備の目的は、迅速な介護サービス体制を構築するため、荘内を網羅した無

線 LAN を整備し、上記 ICT 機器の活用に供するものである。

②-2　スマートフォン（iPhone）を、見守り支援システム「眠り SCAN」（パラマウントベッド株式会社）、ナースコール「ココヘルパ G」、および新設する介護記録システム「CAREKARTE」と連携できるよう、Wi-Fi 環境を構築すること。

②-3　上記を行うのに必要な機器の手配、配線工事、設計を行い、端末の取り付けおよび動作試験を行うこと。

②-4　音声（5GHz 帯）/データ（2.4GHz 帯）両対応のネットワーク機器の選定、設計をすること。

③　Wi-Fi 機器および周辺機器の設置について

③-1　無線 LAN アクセスポイント機器は、アライドテレシス 4551RZ5 AT-TQ6702 GEN2-Z5 とすること。

③-2　2.4GHz と 5GHz のデュアルバンド（もしくはトライバンド）の機能を有すること。

③-3　他の無線 LAN アクセスポイントを管理する仮想コントローラー機能を実装、または仮想コントローラー機能の配下で、システムとして効率的に機能すること。

③-4　Wi-Fi 機器は、天井および壁面に取り付けるものとする。ただし、無線コントローラーを設置する場合は、EPS 内または甲の指定する場所に設置する。
※設置場所が変更となる場合は、必ず甲の承諾を得ること。

④　工事概要（機器設置、配線接続および運用設定における留意点について）

④-1　Wi-Fi 環境構築の電源工事・配線工事・設置・接続・運用設定・試験・調整を行うこと。

④-2　Wi-Fi 設備（AP、PoE スイッチ、ルーター）の設置と調整を行うこと。

④-3　Wi-Fi 提供エリアは、1F の各居室内ならびに共用部及び 2 階男女休憩室とリハビリ事務室とする。屋外等は対象外とする。提供エリアの詳細については、別途資料を確認すること。

④-4　眠り SCAN、眠り CONNECT（クラウド）との連携ができることを確認すること。

④-5　ナースコール設備「ココヘルパ G」との連携ができることを確認すること。

④-6　介護請求・記録ソフト「CAREKARTE」、骨伝導型ヘッドセット「Shokz OpenComm2 2025 Upgrade」との連携ができることを確認すること。

④-7　塵埃等を発生させる作業は、既設機器に対して十分な養生を行い、機能等に悪影響を及ぼさないよう施工するものとする。その他詳細については、甲の承諾を得ること。

④-8　各ケーブルには、行き先・線種を明示するものとする。また、他の配線との誘導障害についても十分に考慮すること。

④-9　配線は行き先別に整然と整理し、将来の増設等の施工が容易になるよう配慮すること。

④-10　設備等の単体調整完了後、総合試験を行うこと。

④-11　すべての工事が完了した後には、速やかに完成図書一式を作成し、甲に提出すること。

④-12　完成図書とは、ネットワーク構成図およびコンフィグシート、機器接続図、現地試験成績書、工事写真とする。

④-13　機器設置・調整・切替にあたっては、甲の業務に極力支障を与えないよう努めること。

④-14　配線敷設工事には、可能な限り既設の配管、配線ルートを使用し、隠蔽配線になるよう努めること。

④-15　壁裏の構造および材質等の問題により配線を隠蔽することが不可能な場合は、露出配線を行い、メタルおよび樹脂モールでケーブルを保護すること。

④-16　廊下および施設内での脚立作業が発生する。その際、利用者および介護職員の往来等の周囲状況に十分注意して作業を行うこと。

④-17　幹線敷設作業において、新たに点検口の設置が必要になる場合は、落札者側にて対応

を行うこと。その際は、事前に甲の了承を得てから設置すること。

④-18　配線敷設の際は、ケーブルの損傷による機器の動作不具合を避けるため、過度の引っ張り、無理な曲げおよび配線の締め付け等を行わないよう注意すること。

④-19　配線工事における注意事項、配線敷設方法および接続方法等は、メーカー仕様および工事説明書の記載事項に従うこと。

⑤　保証/保守について

⑤-1　導入後の機器トラブルによる代替機、再セットアップ費用については、不適当な条件・環境・取り扱い・使用方法に起因した故障以外は、納品後 1 年間保証すること。

⑤-2　保守については、別途協議の上、決定するものとする。

(2)　無線・スマートフォン対応・介護記録連携 ICT コールシステム（ココヘルパ G／ジーコム株式会社）

①　納入機器・構築関係は以下のものとする

商品名	数量
◆ ジーコム株式会社 ココヘルパ G	
ココヘルパ G システムソフトウェア（管理用 PC1 台込）	1 式
メインユニット（MD60） ※緊急呼出しボタン・会話ユニット専用受信機	24 台
会話ユニット（DT50）	96 台
iOS 端末用ココヘルパアプリケーション	1 式
ケア記録システム連携費	1 式
バッファロー法人向け Giga 対応 Layer2 スマート/大容量 PoE スイッチ 16 ポート	4 台
ナースコール配線作業（材料費含む）	1 式
設置設定費用	1 式
諸経費	1 式

※販売終了となった場合には、後継機種を選定し納めること。

②　ナースコール設備概要

■ システム全般

②-1　制御機やナースコール総合盤を必要とせず、専用管理 PC で一括管理できるものとする。

②-2　専用管理 PC で対応履歴のログの確認や、入居者情報の変更ができる機能を有するものとする。

②-3　ナースコール配線によって、ベッドレイアウトに制限がないものとする。

②-4　内線機能を有し、スマートフォンで職員間の呼び出しができるものとする。

■ ナースコールユニット・呼出ボタンについて

②-5　Wi-Fi とは別の複数周波数帯域を使用していること。

②-6　ベッド移動などを柔軟に行えるよう無線対応とし、有線接続（電源を除く）を必要としないこと。

②-7　事故防止のため、電池切れ、コンセントの抜けを通知できる仕様であること。

■ その他 次世代型 ICT 対応ナースコール仕様について

②-8　呼出通知がスマートフォンに対応し、複数端末の同時呼び出しが可能であるものとする。

②-9　スマートフォンから会話したい居室を選択し、会話を可能にする機能を有するものとする。

②-10　ナースコール呼出し履歴を専用管理 PC でログとして残すことができ、介護記録システム「CAREKARTE」との在室・職員情報の同期、コール履歴が自動記録される相互連携機能を有すること。

②-11　呼出時に同時通話ができ、円滑な意思疎通と適切な駆けつけ対応が可能なものとする。

③　施工内容

③-1　専用管理 PC の設置、接続、運用設定、動作試験および調整を行うこと。
③-2　専用管理 PC への接続、機能データ入力、動作試験および調整を行うこと。
③-3　接続する呼出ボタンの動作試験および調整を行うこと。
③-4　スマートフォンと接続し、ナースコールの呼出通知の受信・通話ができるよう、動作試験および調整を各ベンダーと行うこと。
③-5　切替工事中は既存ナースコールシステムを使用できるようにし、工事期間中にナースコール機能が長時間停止しないようにすること。

④　保証/保守について

④-1　導入後の機器トラブルによる代替機、再セットアップ費用については、不適当な条件・環境・取り扱い・使用方法に起因した故障以外は、納品後 1 年間保証すること。（天災は除く）
④-2　無償コールセンターを有し、受付応答などのサポートが受けられること。
※工事期間中、機器配置場所などが変更となる際は、必ず甲の承諾を得ること。
※時節柄、感染症などの不測の事態で工期が変更となる場合は、双方で協議の上、決定すること。

(3)　介護請求・記録ソフト（CAREKARTE／株式会社ケアコネクトジャパン）および情報端末(スマートフォン端末に接続する骨伝導ヘッドセット等、専ら介護ソフトを使用するための端末)

①　納入機器・構築関係は以下のものとする

商品名	数量
【ソフトウェア】	
■ CAREKARTE 標準パック	
特別養護老人ホーム(ユニット型向け)	1 式
特別養護老人ホーム	1 式
■ ツールオプション	
ココヘルパ連携オプション	2 式
眠り CONNECT 連携オプション	2 式
■ システム構築費	
システム構築費	2 式
【システムサポート費（年額）】	
CAREKARTE 標準パック	2 式
ツールオプション	2 式
【データセンター費（年額）】	
データセンター使用料	2 式
【クラウドサービス費（年額）】	
基本クラウドサービス利用料	2 式
CAREKARTE モバイル（入所向け）	2 式
【操作説明・その他ハードウェア】	
ケアカルテ操作説明（オンライン可）　各 10 時間以上	2 式
Shokz OpenComm2 2025 Upgrade	33 台

※販売終了となった場合には、後継機種を選定し納めること。

② 基本要件

②-1 構成については、クラウド方式とし、クライアントPC 20ライセンスの同時接続を可能とすること。
②-2 システムは、常に安定したレスポンスで稼働できるだけのシステム構成・容量であること。
②-3 国保連合会への請求データ伝送に対応できること。伝送に必要なインターネット回線および国保中央会介護伝送ソフトは、施設側で用意するものを使用すること。
②-4 全クライアントPCにおいて、導入した介護システムのすべての機能が利用できること。
②-5 厚生労働省が定める「居宅介護支援事業所とサービス提供事業所間における情報連携の標準仕様」および「LIFE」に対応済みのシステムであること。
②-6 システム起動時に、ID・パスワードによるユーザー認証が行えること。
②-7 IDによる起動メニュー制限、操作・閲覧権限の管理が行えること。
②-8 操作ログ（ID、操作内容）の履歴記録管理が行えること。
②-9 ソフトウェアベンダーにて、ISO/IEC 27001の認証を取得していること。
②-10 個人情報を含むデータは暗号化されていること。
②-11 データセンターにて定期的なバックアップを実施し、機器障害発生時を含め、速やかに復旧できる仕組みを有すること。

③ 概要

③-1 利用者記録管理をメイン機能とする介護システムであり、オプション機能として介護報酬請求、利用者請求機能が付随していること。
③-2 iOS端末（iPhone・iPad）を利用して、パソコン以外からも記録入力、閲覧、編集ができる仕組みがあること。
③-3 パラマウントベッド社「眠りSCAN」との連携が可能であること。
③-4 パラマウントベッド社「眠りSCAN」との連携において、CAREKARTEからの在室・利用者ベッドID情報の同期、「眠りSCAN」からの睡眠、覚醒、離床、呼吸、心拍の検知アラート履歴が自動記録される相互連携機能を有すること。
③-5 パラマウントベッド社「眠りSCAN」との連携記録において、ケース記録として取り込み、他の記録と合わせた形でのグラフや一覧への反映、およびそれらの機能を運用に応じてカスタマイズ可能なこと。
③-6 カスタマイズ機能を有し、運用後にシステム変更が可能であること。
③-7 カスタマイズ機能は、任意の帳票類を組み込むだけでなく、記録項目の追加、他の項目との連携や、集計設定、転記設定等の汎用性のある活用が可能であること。
③-8 介護記録業務のAI音声入力システムとの連携が可能なこと。
③-9 音声入力システムはハンズフリーで入力することができ、入力された記録は、通常の介護記録と同様の形式で管理することが可能であること。
③-10 音声入力システムに、職員間の連絡（インカム）機能が実装されていること。
③-11 このAI音声記録・連絡（インカム）機能において、パラマウントベッド社「眠りSCAN」との連携では、離床検知等のセンサーアラートを通知音やアナウンスにより骨伝導ヘッドセットへ読み上げる機能が実装されていること。
③-12 ナースコールとの連携において、CAREKARTEからの在室・職員情報の同期、コール履歴が自動記録される相互連携機能を有すること。
③-13 今後も様々な機器との連携を予定しており、ナースコールやその他見守りセンサー等との連携が可能なこと。

④　導入・セットアップ・操作指導について

④-1　販売代理店にて『有償』の操作説明研修を用意していること。

④-2　株式会社ケアコネクトジャパンでは提供していない訪問での操作説明サービスについて、販売代理店にて依頼、実施が可能なこと（オンラインの選択も可能）。

④-3　甲と販売代理店にて事前打ち合わせを実施し、スケジュール調整の上、甲の運用にあわせた操作説明を受けることが可能なこと。また、稼働開始後でも有償にて操作説明の追加依頼が可能なこと。

④-4　株式会社ケアコネクトジャパンにて、一部のよく使う機能について無償で受講できるリモート研修が用意されており、導入後、回数制限なく受講可能なこと。

④-5　職員・ログイン ID ごとに動画閲覧状況の進捗確認が可能な、無償の e-learning ツールが用意されていること。

④-6　甲にてシステムのセットアップが可能であること。また、セットアップが難しい場合でも、販売代理店に対し有償の導入支援を依頼可能なこと。

(4)　見守りシステム（眠り SCAN・オプション離床センサー 各 23 台・眠り SCAN eye(カメラ) 4 式／パラマウントベッド株式会社）

①　納入機器・構築関係は以下のものとする

商品名	数量
◆ パラマウントベッド株式会社	
眠り SCAN	23 台
オプションセンサー	23 台
デスクトップパソコン eye 対応（専用機/21 インチモニター含む）	1 台
眠り SCAN 活用支援パッケージ	1 式
介護ソフト連携費用（ケアカルテ連携費用）	1 式
介護ソフト連携費用（眠り SCAN⇒眠り CONNECT⇒ハナストへの AI 音声読み上げ通知連携費用）	1 式
送料等諸経費	1 式
組立・取付費	1 式
眠り CONNECT クラウド環境設定費	1 式
眠り CONNECT サーバー初期設定費	1 式
Viewer 端末設定費	1 式
眠り CONNECT タワーサーバーレンタル料 1 年パック	1 式
眠り CONNECT ハイブリッド構成サービス利用料（メニューⅠ）1 年パック	1 式
眠り CONNECT 連携オプション月額費用（介護記録システム）1 年パック	1 式
眠り CONNECT 連携オプション月額費用（眠り SCAN⇒眠り CONNECT⇒ハナストへの AI 音声読み上げ通知連携費用）1 年パック	1 式
眠り SCAN eye(カメラ)	4 式
AC アダプターケーブル	4 式
取り付けマウント(移動式・クリップタイプ)	4 式
眠り CONNECT eye アプリライセンス	1 式
眠り CONNECT 連携オプション費用（眠り SCAN eye カメラ）1 年パック	1 式

※販売終了となった場合には、後継機種を選定し納めること。

②　概要

②-1　シート状のマット型センサーをマットレスの下に敷き込み、利用者の寝返りおよび心拍数などの情報から体動を検出することができるもの。

②-2　利用者の呼吸数および脈拍数、睡眠状態、覚醒、起き上がり、離床動作などを把握でき

る機能があるもの。また、Wi-Fi 環境下で、利用者と非接触でもそれらの機能が使用できるもの。

②-3　施設内に専用ローカルサーバーを設置し、クラウドサーバーと連携する仕組みであること。

②-4　クラウドサーバーと連携し、従来は管理 PC でのみ行えた設定操作を、PC・タブレット・スマートフォンと端末を問わず利用できるもの。

②-5　クラウドサーバーと連携し、リアルタイムモニター画面で利用者の状態を特徴のあるアイコンで表現し、さらに背角度・状態継続時間などの情報を設定により増やすことが可能で、タイル・マップ・日誌・リスト・通知一覧から表示方法を選択できるもの。

②-6　クラウドサーバーと連携し、利用者や眠り SCAN の設置部屋を変更した後、部屋割り当て設定をより直感的に、その場（居室）ですぐに設定することもできるもの。

②-7　眠り SCAN 管理用 PC と管理用モニターは、下記のスペックを満たすものとする。

※OS：Windows 11 Pro（64bit/日本語版）、CPU：Core i5、メモリ：8GB、SSD：240GB 以上

※液晶ディスプレイサイズ：21 インチワイド以上

②-8　眠り SCAN 専用管理用 PC は、パラマウントベッド株式会社供給の純正専用製品であること。

②-9　介護記録システム「CAREKARTE」との在室・利用者ベッド ID 情報の同期、眠り SCAN による睡眠、覚醒、離床、呼吸、心拍の検知アラート履歴が自動記録される相互連携機能を有すること。

②-10　上記②-9 の検知アラートを、介護記録システム「CAREKARTE」に付随の AI 音声記録/インカム用スマートフォンアプリ『ハナスト』へ読み上げ通知する機能を有すること。

③　保証/保守について

③-1　導入後の機器トラブルによる代替機、再セットアップ費用については、不適当な条件・環境・取り扱い・使用方法に起因した故障以外は、納品後 1 年間保証すること。

③-2　保守サービスにかかる費用については、見積内容に含めること。また、保守サービスの範囲について、十分に説明を行うこと。

(5)　日立 PBX・Wi-Fi 配線・取付・ジーコムメインユニット・呼出ボタン一式（通信設備大規模修繕工事）

①　納入機器・構築関係は以下のものとする

商品名	数量
◆日立 PBX・Wi-Fi 配線・取付・ジーコムメインユニット・呼出ボタン一式	
日立　MXB IP 接続基本セット CCUB	1 式
日立　MXA 増設キャビネット 1A	1 式
日立　MXA IPCNT パッケージストッパ A	1 式
日立　MXA 3.2AH バッテリーB	2 式
日立　MXA 8 回路デジタル電話機ライン回路 A	1 枚
日立　MXA 8 回路レバース付き単独電話機ライン回路 C	1 枚
日立　MXA 4 回路局線話中音監報トランク A	1 枚
日立　MXA 4 回路 I インタフェーストランク A	1 枚
日立　MXA マザーボード A	1 枚
日立　MXA ページングトランク A	1 枚
日立　MXA 4 回路停電直通切替ユニット A	1 枚
日立　MXA 遠隔保守トランク A	1 枚
日立　MXA IP 通話チャネル拡張 10 ライセンス A	2 式
日立　MXA スマートフォン 5 ライセンス A	1 式
日立　MXA スマートフォン 10 ライセンス A	4 式
日立　HI-24G-多機能電話機 SDA	6 台
日立　HI-24G-多機能電話機 PFA	1 台
日立　MX 工事・保守支援スタンダード 6 年一括	1 式
日立　設置設定・諸経費等	1 式
Wi-Fi 配線・取付作業	1 式
ジーコム　メインユニット(MD60)	4 台
ジーコム　緊急呼出ボタン(SW23E)通常タイプ	56 台
ジーコム　緊急呼出ボタン用ホルダー(SW23HOLDER)トイレ・脱衣室設置用	56 台
ジーコム　緊急呼出ボタン(SW23W)防水タイプ・ホルダー付	5 台

商品名	数量
ジーコム　メインユニット・呼出ボタン設定設置費	1式
ジーコム　メインユニット・呼出ボタン構築諸経費	1式

※販売終了となった場合には、後継機種を選定し納めること。（工事後、機器配置図を提出すること。）

※設置および設定は、落札者と双方協議の上、別途契約を行うものとする。

② 概要

②-1 山形県高齢者支援課より通知された「令和８年度山形県介護施設等の大規模修繕の際にあわせて行う介護ロボット・ICT 導入支援事業」の要綱に基づく「介護ロボット・ICT と親和性を持つ大規模修繕工事」であること。

②-2 上記に基づき、天井を開口して行う電気設備（弱電系統）の再配線改修工事であること。

②-3 現行の構内 PHS 環境からスマートフォン運用への移行を見据え、ビジネスホン主装置の刷新、ならびに既存のビジネスホン主装置から PHS 用アンテナまでのメタル配線を、スマートフォン用無線 LAN アクセスポイント接続のための LAN ケーブルへ再配線する改修を主とすること。

②-4 上記②-3 に基づき、ビジネスホン主装置は IP 対応仕様とし、据置型多機能電話機以外のワイヤレス通話端末については、従来の専用アンテナと PHS を用いた通信環境ではなく、無線 LAN アクセスポイントに接続したスマートフォンにソフトフォンアプリをインストールし、内線電話（子機）として運用できる仕様であること。

②-5 居室外（トイレ・脱衣室等）に設置するメインユニット（MD60）および呼出ボタン類を(2)無線・スマートフォン対応・介護記録連携 ICT コールシステム（ココヘルパ G／ジーコム株式会社）のシステムと連携させて設置すること。

③ 工事概要（機器設置、配線接続および運用設定における留意点について）

③-1 設備等の単体調整完了後、総合試験を行うこと。

③-2 すべての工事が完了した後には、速やかに完成図書一式を作成し、甲に提出すること。

③-3 完成図書とは、ネットワーク構成図およびコンフィグシート、機器接続図、現地試験成績書、工事写真とする。

③-4 機器設置・調整・切替にあたっては、甲の業務に極力支障を与えないよう努めること。

③-5 配線敷設工事には、可能な限り既設の配管、配線ルートを使用し、隠蔽配線になるよう努めること。

③-6 壁裏の構造および材質等の問題により配線を隠蔽することが不可能な場合は、露出配線を行い、メタルおよび樹脂モールでケーブルを保護すること。

③-7 廊下および施設内での脚立作業が発生する。その際、利用者および介護職員の往来等の周囲状況に十分注意して作業を行うこと。

③-8 幹線敷設作業において、新たに点検口の設置が必要になる場合は、落札者側にて対応を行うこと。その際は、事前に甲の了承を得てから設置すること。

③-9 配線敷設の際は、ケーブルの損傷による機器の動作不具合を避けるため、過度の引っ張り、無理な曲げおよび配線の締め付け等を行わないよう注意すること。

③-10 配線工事における注意事項、配線敷設方法および接続方法等は、メーカー仕様および工事説明書の記載事項に従うこと。

④ 保証/保守について

④-1 導入後の機器トラブルによる代替機、再セットアップ費用については、不適当な条件・

環境・取り扱い・使用方法に起因した故障以外は、納品後 1 年間保証すること。
④-2　保守契約については、別途協議の上、決定するものとする。

５．機器仕様

本仕様書は甲が必要とする最低限の仕様要件を示したものであり、入札機器の性能等がこれらの仕様を満たしていないと判定された場合は不合格とし、入札の対象から除外する。システムの変更については、別途双方協議の上、決定するものとする。

６．設置概要（機器設置、配線接続および運用設定における留意点について）

(1)　機器等の機能を十分に発揮できるよう、誠実に施工すること。
(2)　上記機器との連携に必要な個別設定が発生した場合は、甲と相談の上、対応を行うこと。
(3)　塵埃等を発生させる作業は、既設機器に対して十分な養生を行い、機能等に悪影響を及ぼさないよう対応すること。その他詳細については、甲の承諾を得ること。

７．その他

本仕様書に定めのない事項、または疑義が生じた事項については、別途協議するものとする。

工事に伴う注意事項

感染症予防、施設利用者の安全確保のため、下記の注意事項がございます。ご協力のほど、よろしくお願いいたします。

また、作業時等において知り得た利用者およびその家族等ならびに職員等の個人情報等について漏洩することのないようにお願いいたします。

■ 感染症対策・入荘時

・体温、体調の確認を行ってから入荘してください。風邪症状、体調不良の場合には入荘禁止となります。
・ご本人以外でも、ご家族、同僚など関係者の体調不良、感染疑いや濃厚接触者となった場合は入荘禁止です。
・工事作業後に感染症が判明した場合には、事業所を通じてご連絡ください。
・入荘時には、入荘時記録に氏名、連絡先、体温を記入してください。
・すべての作業従事者に対して、咳エチケット、手洗いの励行、正しいマスクの着用など、基本的な感染症防止対策を徹底させてください。
・工事現場の状況により、アルコール消毒液の設置や、ドアノブ、スイッチ類、関連機器や手すりなど頻繁に触れる箇所の定期的かつこまめな消毒をしてください。消毒用品についてはご準備ください。
・入荘への人数にあたっては必要最小限とし、打ち合わせなどは荘内で行わないでください。

■ 作業時

・作業にあたっては、利用者、職員の安全確保を第一にお願いします。
・作業開始前、作業終了後には事務室に連絡をしてください。
・利用者、職員の行動を最優先とします。
・高所での作業や立ち入り禁止にする場合には、案内、誘導をお願いします。
・工事作業上、停電、電気機器、通信機器など、通常の利用に支障をきたす場合には、事前に打ち合わせが必要です。
・騒音、振動が発生する場合には、事前に打ち合わせが必要です。
・持ち込み機材は最小限とし、置き場所も事前にご相談ください。
・工事で出たゴミ、粉塵は片付け、すべて持ち帰ってください。

以上